年間授業計画 新様式例

桜町　高等学校 令和５年度（１学年用） 教科　人間と社会　　科目 人間と社会

教　科：　人間と社会　　科　目：　人間と社会　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　1 学年　A　組

教科担当者：（A組：大庭　拓也　　）

使用教科書：（『人間と社会』（東京都教育委員会）　　）

教科　人間と社会　　の目標：

【知識及び技能】「人間と社会」が設定された意義を理解し、社会の諸課題について理解を深めることができる。

【思考力、判断力、表現力等】みなが幸せに生きていくためにはどうすれば良いのか、自分なりの姿勢や行動を身に着けることができる。

【学びに向かう力、人間性等】自身の意思で課題を決め、情報を集め、考えたり話し合ったりできる。

科目　人間と社会　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
「人間と社会」が設定された意義について正しく理解し、私たちが生きる社会の諸課題について理解を深めることができる。	みなが幸せに生きていくためにはどうすれば良いのか、自分なりの姿勢や行動を身につけることができる。	自身の意思で課題を決め、情報を集め、考えたり話し合ったりできる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	「人間と社会」という教科の意義について理解を深める。	オリエンテーション　序章「人間と社会～学習の視点」を考える	現代社会が抱える諸課題とそれに対し一人ひとりがどのように向かっていくかということについて自分なりに考えようとしている。	○	○	○	2
	人間関係を築くことにどのような意味があるのか、それを深めるためにはどのような方法があるのか考えることができる。	第１章　人間関係を築く	人間関係を築くことにどのような意味があるのか正しく理解でき、それを深めるためにはどのような方法があるのか考えようとしている。	○	○	○	3
	なぜ学ぶことが必要なのかということに対し理解を深め、これからの高校生活でどのような姿勢で学んでいくか考えることができる。	第2章　学ぶことの意義	なぜ学ぶことが必要なのかということに対し理解を深め、これからの高校生活でどのような姿勢で学んでいくか考えようとしている。	○	○	○	3
	働くことがなぜ社会貢献につながっているのか理解でき、自身が働くことによってどのように成長できるか考えることができる。	第3章　働くことの意義	働くことがなぜ社会貢献につながっているのか理解でき、自身が働くことによってどのように成長できるか考えようとしている。	○	○	○	3
2学期	社会で生きる中において役割を担い責任を果たすことの意味を正しく理解できる。	第4章　役割と責任	社会で生きる中において役割を担い責任を果たすことの意味を自分なりに考えようとしている。	○	○	○	5
	社会においてマナーやルールがなぜ必要なのか理解できる。	第5章　マナーとルール	社会におけるマナーやルールの必要性を自分なりに考えようとしている。	○	○	○	5
	スマートフォンと共に生きる現代でどのようなコミュニケーションが求められているか理解を深める。	第6章　スマートフォン時代のコミュニケーション	インターネットトラブルに対しどのような対処が正しいか、スマートフォンによって社会のコミュニケーションのあり方はどのように変化するか自分なりに考えようとしている。	○	○	○	5
3学期	より良い選択をし行動するためにはどうすれば良いか考えることができる。	第7章 選択し行動する	より良い選択をし行動するためにはどうすれば良いか自分なりに考えようとしている。	○	○	○	3
	チームを動かすときにどのような力が必要か考えることができる。	第8章 チームを動かす力	チームを動かすときにどのような力が必要か考えようとしている。	○	○	○	3
	自分が理想とするワークライフバランスを実現するためにはどうしたらよいか考えることができる。	第9章 ワークライフバランス	自分が理想とするワークライフバランスを実現するためにはどうしたらよいか考えようとしている。	○	○	○	3
							合計
							35